



11月8日(水) はレントゲンの日です

朝夕冷え込む季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は広島がん高精度放射線治療センターに欠かすことのできない『放射線』についてのお話です。

一概に放射線といっても、さまざまな種類がありますが、医療の現場で最もよく用いられているものは『X(エックス)線』です。レントゲン撮影、CT検査はすべてX線が用いられており、放射線治療もそのほとんどがX線によるものです。

X線の歴史は意外に浅く、最初に発見されたのは1895年(明治28年)11月8日です。ドイツの物理学者ヴィルヘルム・レントゲン(右図)が実験中に偶然発見し、未知の放射線という意味で『X線』と名付けました。もちろん現在では、その特性が明らかになり、医療現場で広く応用されています。

HIPRACではX線CTを用いて放射線治療の計画を行い、高エネルギーX線を用いて実際の治療を行っています。陽子線や重粒子線などは扱っておりませんのでご注意ください！



Wilhelm Conrad Röntgen(1845-1923)

今年も平和マラソンに参加しました♪



10kmコースのベストタイムは46分35秒でした。
中には昨年より3分もタイムを縮めた職員もいました。

スポーツの秋到来です。広島国際平和マラソンに今年も参加してきました。今年は昨年より多い22名の職員が参加し、昨年の結果を上回ろうと一生懸命走りました。来年も参加予定ですので、もし会場で見かけた際は、応援の程よろしくお願い致します。